

科目名称	介護実習（展開実習）
授業コード	BL294
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	3.0
担当教員	柴野 裕子, 松永 美輝恵, 藤江 慎二
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>介護保険法に基づく入所施設，障害者総合支援法に基づく入所施設等で，集中160時間（20日間）の実習を行う。</p> <p>介護実習（展開実習）の概要は，下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な生活支援技術の実践を行う。 2. 介護過程の「アセスメント～計画立案」までを実施する。 3. アクティビティの企画・実施・評価の方法を学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	介護福祉士または看護師の資格を取得した後5年以上の実務経験を有する教員が，実務経験を活かして介護実習の指導を行う。
到達目標	<p>ディプロマポリシーに掲げる「広い視野をもって福祉的課題を見つけることができ、探求することができる」，カリキュラムポリシーに定める「社会福祉士，精神保健福祉士，介護福祉士として必要な知識や技術を得る科目を配置する」を実現する。</p> <p>上記をふまえた到達目標は下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な生活支援技術の実践を通して，利用者の尊厳の保持や，自立支援にかかわる実践能力を養う。 2. 介護過程の「アセスメント～計画立案」までを実施し，個別ケアのあり方について学ぶことができる。 3. 個別または小集団のアクティビティを実施・評価できる。 4. 介護過程の展開、アクティビティの実施を通して、「介護職チーム」及び「多職種チーム」によるチームアプローチについて学ぶことができる。
計画・内容	<p>【実習指導担当者】柴野・藤江・松永・新任教員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習時間 160時間（20日間） 2) 実習期間 2025年2月10日～2月21日 2025年2月26日～3月11日 帰校日：2025年2月22日 (実習日程に変更があれば、随時説明します) 3) 実習内容：介護過程の実践的展開、多職種協働の実践、地域における生活支援の実践 <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先のプログラムと学生の実習計画を調整したうえで、実習を進める。

計画・内容	4. 配属フロアーを固定して行う。
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者支援施設または高齢者介護施設で、実習先の実習指導者の指導のもとに160時間（20日間）の実習を行う。 ・ 自己の実習計画と実習先のプログラムを加味して日々の目標を設定し、実習を行う。 ・ 日々の目標を実習指導者に報告し、実習指導者の指導を受けながら実習を行う。 ・ 実習指導者と担当教員の指導を受けながら、介護過程の展開（アセスメント～計画立案）を行う。 ・ 実習記録は毎日書いて提出する。 ・ 反省会を行い、学習のまとめと今後の自己の課題を明確にする。
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習自体が体験学習である。 ・ 利用者への生活支援を見学・記録し、自らも実践し、振り返っていく。 ・ 繰り返し実践をしていくことで、生活支援の技術を身につけていく。 ・ 介護過程の展開においても同様に、実践を繰り返しながら、実習を行っていく。
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習（予習）として、毎回の実習前に「記録2（日々の記録）」に、下記を記載して実習を行う。（記録時間は0.5～1時間程度） 「本日の実習目標」を設定し、その目標を達成するための「目標に対する事前学習（方法や観察の留意点など）」、「実習計画」 ・ 事後学習（復習）として、毎回の実習後に「記録2（日々の記録）」に実習内容・考察・明日への課題を記録する。（記録時間は1時間～1.5時間程度） ・ 実習時のまとめとして、反省会の資料作成を行う。 ・ 実習終了後に、振り返りシートへの記入や実習記録の整理を行う。
教科書・参考書	帝京科学大学・介護実習ガイドブック（第3版）
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護実習（展開実習）は、160時間の実習時間の出席が必要。 ・ 実習施設評価（20%）、実習記録（30%）、実習反省会の状況（10%）、実習目標の達成（10%）、総合評価（30%）
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習巡回時と帰校日に、実習記録へのコメントを行う。 ・ 反省会で、反省会の資料へのフィードバックを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定科目である。 ・ 介護福祉士養成課程を履修している者以外は履修できない。 ・ 介護総合演習・および介護実習を履修済でなければ、本科目を履修できない。 ・ 出席日数や時間数に問題がある場合、実習内容に問題がある場合は、原則として追加実習を行う。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面授業となった場合</p> <p>授業の進め方 学内実習に変更する。zoomによるオンライン、学内での対面授業による演習、課題学習の組み合わせ等で、代替演習プログラムを作成し、プログラムにそって実施する。</p> <p>成績評価方法と基準 課題提出（20%）、実習記録（30%）、実習反省会の状況（10%）、指導を受ける態度（10%）、介護計画（30%）</p>